

東郷俊宏 プロフィール



1966年生(57歳) 鎌倉市在住. 順天堂大学協力研究員 明治国際医療大学客員教授

東京大学卒業後、演劇好きが高じ舞台照明の会社に入るも健康上の理由で退職、東洋医学の道を志す。鍼灸師資格を取得後、京都大学を皮切りに医療系大学で20年間、研究と教育に従事。WHO、ISOの国際会議に日本代表として参加しキャリアを積み重ねるなか、7年間にわたる両親の介護生活を経験（父：施設、母：在宅）。自らの介護生活で母親の首に手をかけた経験から、「親子の絆」という物語が逆に家族を苦しめることに愕然とすると同時に、日本の教育のなかで「家族をケアする」ことが軽視されているかを痛感する。介護職、医療職とのOne Teamによって2017年に両親を見送った後は、自身の介護経験をもとに看護大学や医療系専門学校で介護について講義するほか、「家族の視点から見た介護」、「介護を通じて学ぶ命の慈しみ方」をテーマにセミナー活動を継続している。

活動実績： 医療系大学・専門学校での講義（2017年～）

1. 2017-現在 東京医療保健大学保健医療学部・千葉看護学部「リラクゼーション論」にて介護をテーマに講義（受講者120名）
2. 2019-現在 日本医学柔整鍼灸専門学校にて「東洋医学思想」で介護をテーマにした話題を取り上げて講義（受講生480名）
3. 2021-現在 呉竹柔整鍼灸専門学校・東京医療専門学校・東洋鍼灸専門学校にて講義（受講生480名）

コンテスト実績

2023年2月 「No.1講師決定戦 セミコングランプリオンライン大会」

（日本パーソナルブランド協会）準優勝

2. 2023年4月

「セミコングランプリ京都2023」（日本パーソナルブランド協会）ファイナリスト